

2018年(平成30年)12月26日

パラリンピック競技団体、パラリンピック競技以外の団体を調査対象とした 『障害者スポーツ競技団体の実態調査』について

当財団(YMFS)は、国内の障害者スポーツ競技団体を対象に実態調査を実施し、その結果をまとめました。東京2020パラリンピック開催決定に伴い、障害者スポーツを取巻く環境が大きく変化する中、障害者スポーツ競技団体(パラリンピック競技団体“夏季・冬季”とパラリンピック競技以外の団体)を対象にアンケートを行い、併せて53団体(パラリンピック競技団体:27“夏季24団体、冬季3団体”、パラリンピック競技以外の団体:26)から回答を得ました。

なお、2013年度に同様調査を実施しており、一部設問では東京2020大会開催決定前後の変化も確認しています。(※前回調査時は、パラリンピック競技団体のみが対象) 本調査は当財団調査研究 障害者スポーツ・プロジェクト(リーダー:藤田紀昭。日本福祉大学 スポーツ科学部 教授)によるもので、他の調査結果も併せた報告書の発行を2019年3月に予定しています。

【調査結果トピックス】

- パラリンピック競技団体(以下、「パラ団体」)では全ての団体で法人格取得。(内訳:一般社団法人 66.7%。NPO 法人 29.6%)。パラリンピック競技以外の団体(以下、「パラ以外団体」)では約6割が法人格を取得。「パラ団体」の85.2%が専用事務局を設置。「パラ以外団体」は団体役員の自宅に事務局併設が過半数。
- 専用職員を雇用する団体は、「パラ団体」は約9割。「パラ以外団体」では約2割。障害者スポーツ競技団体の職員数平均値は4.1人。職員に「障害当事者」の居ない団体は25団体。
- 「パラ団体」の競技登録者数は総計4,406人、平均値232人、中央値100人。「パラ以外団体」の競技登録者数は総計65,928人、平均値3,296人、中央値228人。【図表1】
- スポーツ競技団体との連携・協力は「パラ団体」で約8割、「パラ以外団体」で約5割。【図表2】
- 「パラ団体」と「パラ以外団体」で実施事業に違いが見られたのは「クラシファイア講習会」「ジュニア育成事業」「タレント発掘事業」「ボランティア養成」である。一方、「スポーツ大会の開催」「スポーツ教室の開催」「普及促進のイベント」では違いは見られなかった。【図表3-1】【図表3-2】
- 日本財団パラリンピックサポートセンター(パラサポ)内に事務局がある「パラ団体」は17団体。パラサポ利用後の主な効果は「業務効率化」「情報量増加」「他の競技団体と連携・交流」など。
- 2021年4月以降の団体運営は「事業縮小(17団体)」、「現状維持(15団体)」、「拡大(14団体)」と回答。特に「拡大」と回答したのは、全て「パラ以外団体」であった。【図表4】

【障害者スポーツ・プロジェクト 本テーマ担当者コメント:小淵和也 笹川スポーツ財団 主任研究員】

本調査ではパラサポの設立効果をたずねている。その効果について、業務効率化、情報量増加、他の競技団体との連携・交流を挙げる団体が多く、発足当初の目的が実を結んでいることが再認識できた。一方で、設立当初からパラ団体の“自走”を支援してきたが、調査結果はその難しさを物語っている。パラサポの支援終了がパラ団体の活動低下となる事態は避けなければならない、現在の支援内容を各競技団体がそれぞれ精査したうえで、一部機能については、それらを統括する団体が引き継いでいくなど、さまざまな可能性を模索しなくてはならないだろう。

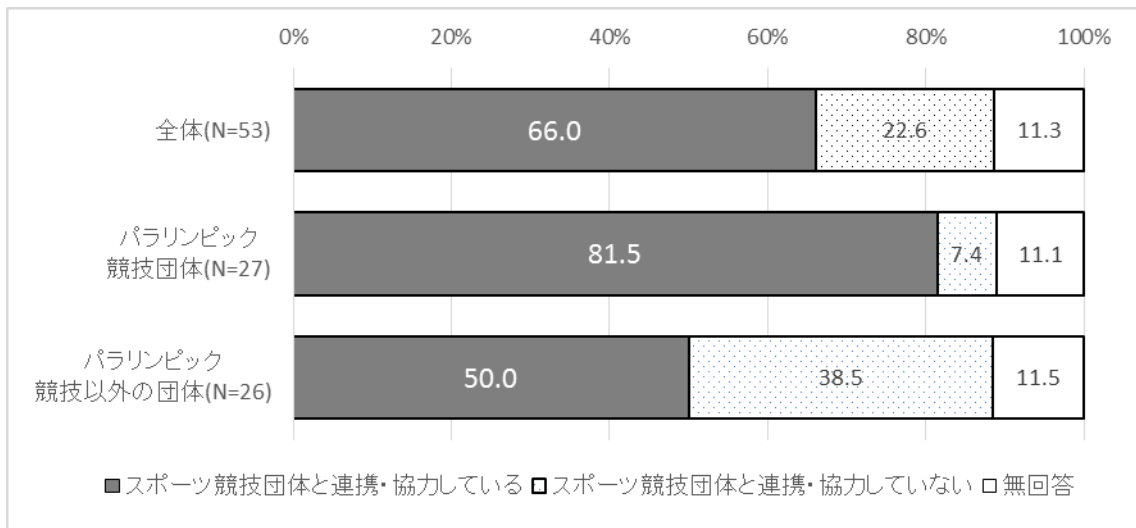
その他、詳細結果は以下のHPに掲載しています。

<http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/201808-parasports-org/>
※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当:尾鍋)

【図表 1】 障害者スポーツ競技団体の登録者数

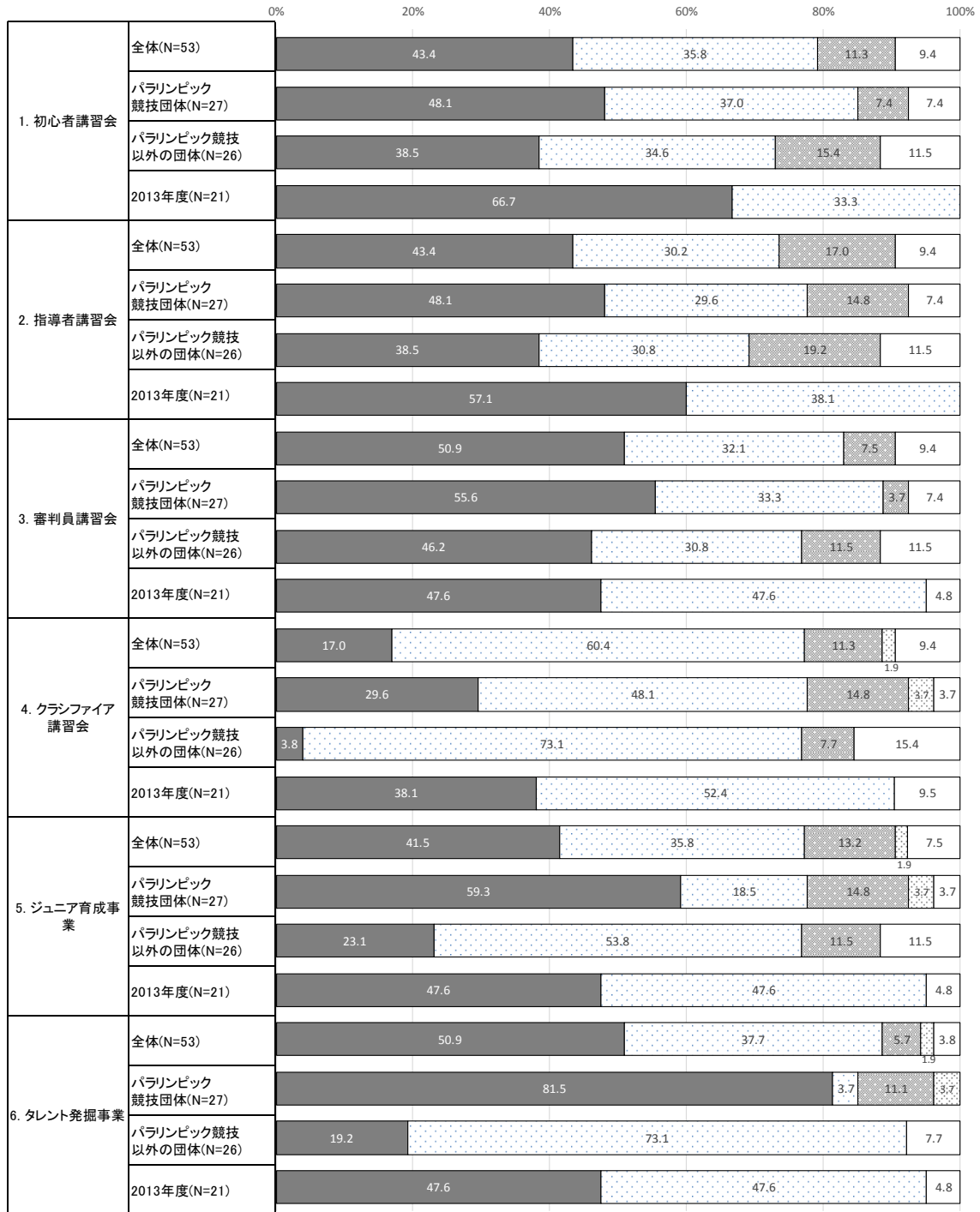
		全体			パラリンピック競技団体			パラリンピック競技以外の団体		
		合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子
競技登録者数	N	39	37	37	19	18	18	20	19	19
	平均値	1,803	1,104	751	232	165	42	3,296	1,994	1,423
	中央値	115	93	17	100	67	19	228	200	17
	総計	70,334	40,853	27,800	4,406	2,966	759	65,928	37,887	27,041
国際大会を目指す競技者数	N	35	34	34	20	20	20	15	14	14
	平均値	39	29	7	40	30	10	37	28	4
	中央値	26	18	4	31	21	11	15	11	0
	総計	1,351	998	253	796	601	195	555	397	58
団体チーム登録数	N	27	12	11	12	5	5	15	7	6
	平均値	41	31	8	62	57	16	24	13	2
	中央値	25	14	0	25	16	8	26	12	0
	総計	1,102	377	91	746	284	82	356	93	9
指導者数	N	30	26	26	12	12	12	18	14	14
	平均値	397	107	33	19	15	5	648	187	56
	中央値	14	10	2	10	9	2	21	13	2
	総計	11,902	2,786	845	230	175	55	11,672	2,611	790
審判員数	N	31	28	28	12	12	12	19	16	16
	平均値	83	14	3	10	8	2	129	19	4
	中央値	8	6	0	6	5	1	12	6	0
	総計	2,583	402	95	124	98	26	2,459	304	69

【図表 2】 障害者スポーツ競技団体とスポーツ競技団体の連携・協力



【図表 3-1】障害者スポーツ競技団体の実施事業の状況①

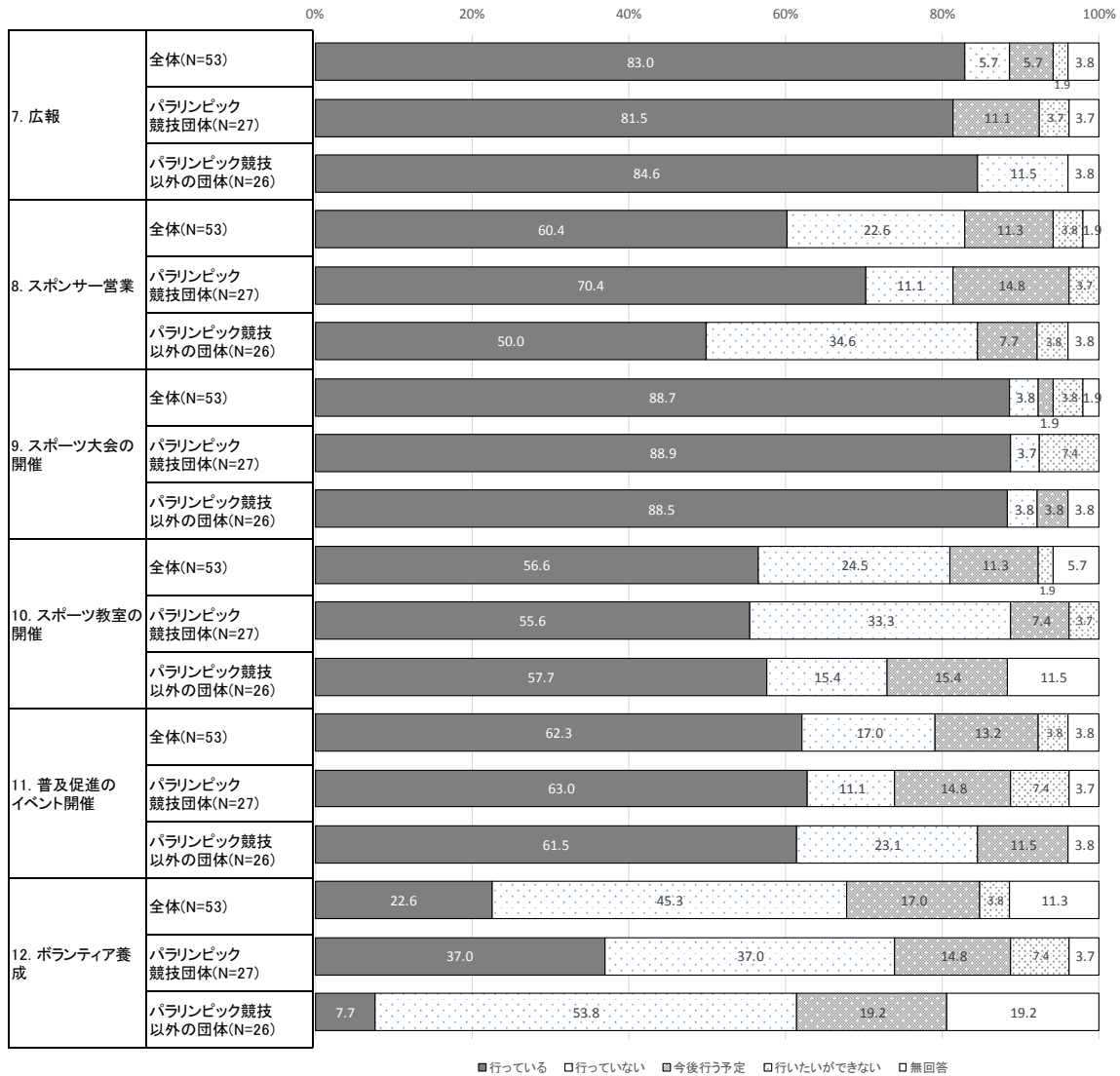
※2013年度の調査対象は「パラリンピック競技団体」のみ



■行っている □行っていない □今後行う予定 □行いたいができない □無回答

【図表 3-2】障害者スポーツ競技団体の実施事業の状況②

※2013年度の調査対象は「パラリンピック競技団体」のみ



【図表 4】障害者スポーツ競技団体の 2021 年 4 月以降の団体運営(事業の進め方)(N=49)

